

No. C 259 B

5117

LA3201

モノリシックリニア集積回路
テープレコーダ用プリアンプ

半導体ニュースNo.259A とさしかえてください。

特長

- ・カセットテープレコーダのイコライザアンプ用に設計されたICで ALC用のトランジスタが内蔵されている。
- ・パワーIC LA4100 シリーズと組み合わせての使用に最適である。

最大定格 / $T_a = 25^\circ\text{C}$

最大電源電圧	$V_{CC \text{ max}}$	9.5	V
アンプ部電源電流	$I_C \text{ max}$	10	mA (peak)
TRI コレクタ電流	$I_{C1} \text{ max}$	5	mA (peak)
許容消費電力	$P_d \text{ max}$	200	mW
動作周囲温度	T_{opg}	-20 ~ +60	$^\circ\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	-40 ~ +125	$^\circ\text{C}$

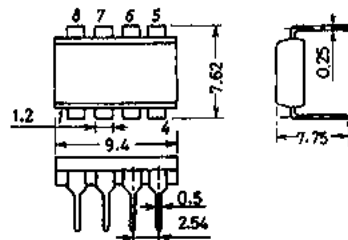
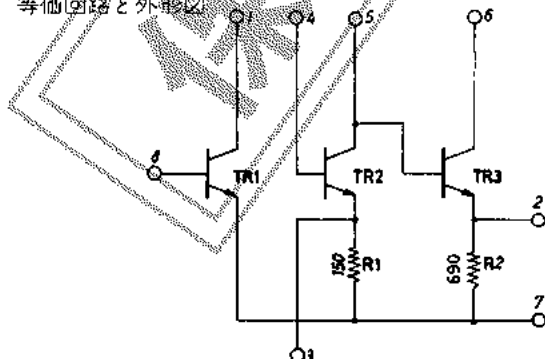
推奨動作条件 / $T_a = 25^\circ\text{C}$

推奨電源電圧	V_{CC}	5.5	V
負荷抵抗	R_L	10	k Ω

動作特性 / $T_a = 25^\circ\text{C}$, $V_{CC} = 5.5\text{V}$, $f = 1\text{kHz}$, $R_L = 10\text{k}\Omega$, 指定測定回路において。

			min	typ	max	単. 位
無信号電流	I_{QCC}	無信号時		1.1		mA
電圧利得	V_G	開ループ	56	58		dB
		閉ループ, 指定回路	42	45	48	dB
出力電圧	V_O	THD = 5%	0.7	1.2		V
全帯域歪み率	THD	$V_O = 200\text{mV}$			1.0	%
入力抵抗	r_i		20			k Ω
出力雑音電圧	V_{NO}	R_L に head 使用, 電圧利得 75dB			10	μV
ALC リジェクション					9	dB

等価回路と外形図



単位: mm
SANYO DIP-8

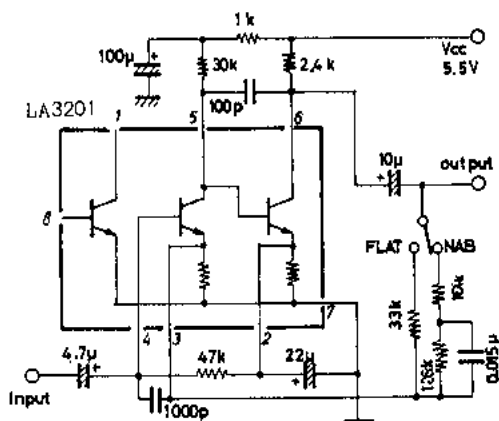
※ これらの仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。

〒370-06 群馬県大泉町坂田180

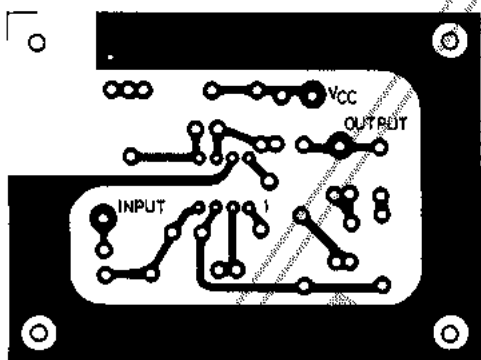
東京三洋電機(株)半導体事業部

TEL. 0276-63-2111(大代表)

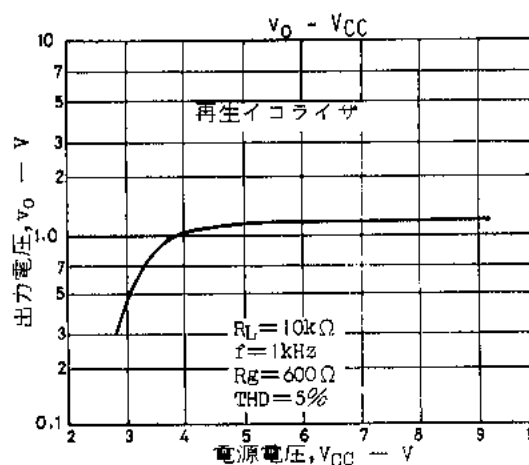
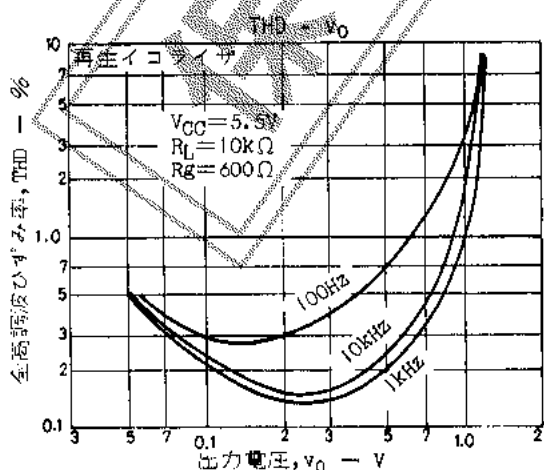
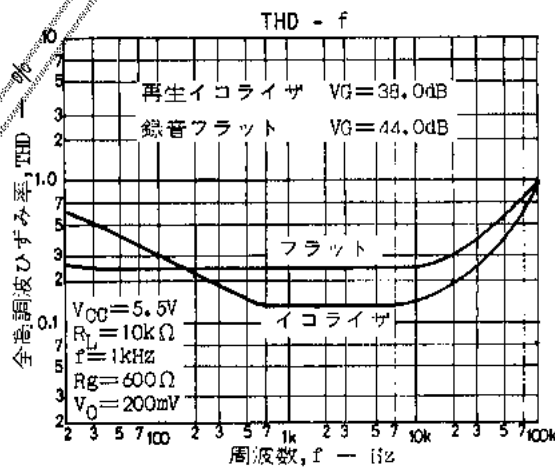
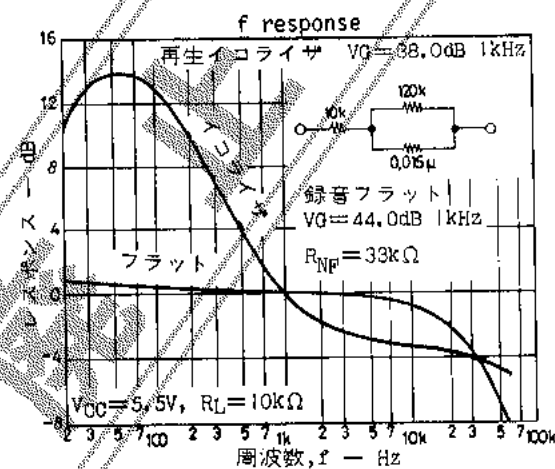
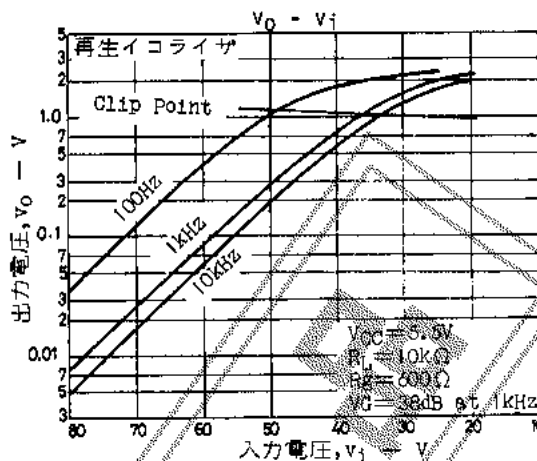
応用回路/テープレコーダ用プリアンプ



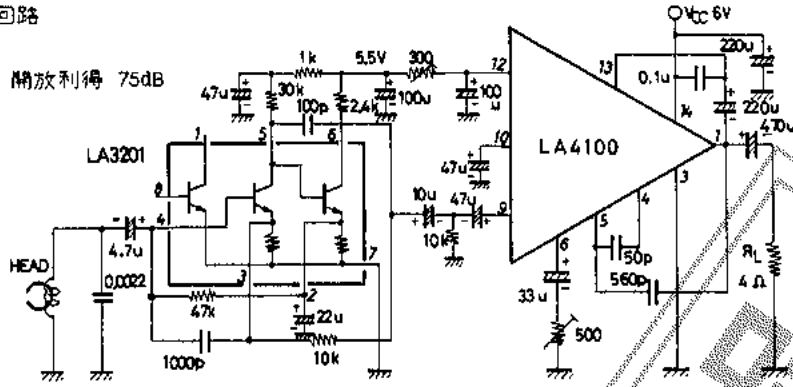
①, ⑧ピンのトランジスタは ALC 用。
 ◎プリント基板例を 次ページに示す。
 ALC については LA4100 シリーズの資料を参照。



(銅箔面) 60x80mm
 応用回路のプリント基板例

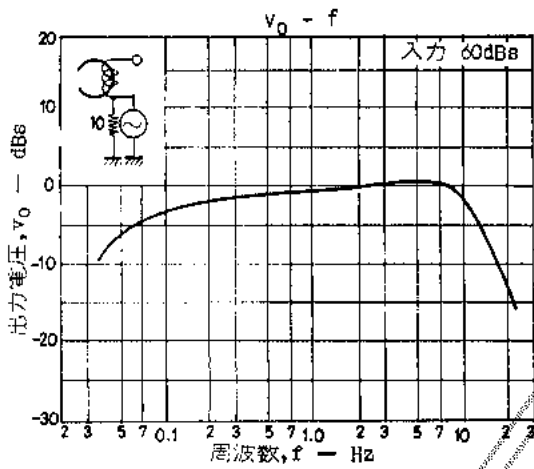


出力雑音電圧測定回路



開放利得 75dB

オーバーオール電圧利得 75dB
 ヘッドのインピーダンス $2k\Omega / 1kHz$



(注) LA3201 と LA4100 シリーズを使用した カセット式テープレコーダの設計は 技術資料No.42Aを 参照されたい。